

## 学長室から

竹屋 元裕

## 大きく変わる認証評価制度

先月21日の私立大学協会九州支部春季総会（小倉）における講演「私学振興上の当面する重要課題」で、認証評価制度が大きく変わることが報告された。これは中教審による「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～」という答申（R7.2.21）に基づくもので、この答申では高等教育政策の3つの目的として、（1）教育研究の「質」の向上（2）高等教育全体の「規模」の適正化（3）高等教育への「アクセス」確保が示された。

このうち（1）教育研究の「質」の向上に関して、認証評価制度の見直し提言され、在学中にどれくらい力をのばすことが出来たのか等を含む教育の質を数段階で評価する新たな評価制度への移行が謳われている。

さらに中教審大学分科会に質向上・質保証システム部会が設置され、今後「認証評価制度の見直し及びそれに伴う情報公開の内容・方法の改善」が論点として議論される。具体的には、現在の認証評価は機関別評価であるが、これからは学部別、分野別に定性的評価を導入するとともに教育研究情報に基づく定量的評価を行い、大学等の教育の質を数段階（つまりランキング）

で示した上で公表するなどの新たな評価制度へ移行することを目指すという。

さらにこの部会の下に、教育・研究の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループが設置され、現行の認証評価の現状認識と課題の洗い出し、新評価制度における評価基準や項目、さらに公表方法等が検討される。

今後、各認証評価機関（例えば大学基準協会、大学改革支援・学位授与機構、日本高等教育評価機構など）のヒアリングを経て、具体的な議論が開始されることになっており、本学でも次期の認証評価受審に向けて、新評価制度に関する情報収集が欠かせない。



小倉で開催された私大協九州支部春季総会。当番大学の西日本工業大学からは、eスポーツを活かした教育研究展開に関して、興味深い講演があった

## 本学OG松尾氏が理事当選 日本作業療法士協会

一般社団法人日本作業療法士協会の役員選挙がこのほど行われ、インターネット投票の結果、本学卒業生で西九州大学准教授の松尾萌美氏が理事に当選しました。任期は2年。

松尾氏は2013年に本学リハビリテーション学科作業療法学専攻を卒業。2021年から西九州大学リハビリテーション学部で教鞭を執っています。同協会内では、昨年11月に札幌市で開催された第8回アジア太平洋作業療法学会の実行委員補佐

を務め、大会の成功に寄与。選挙では、国外への日本作業療法の伝搬と教育的支援、国内に対する組織力強化と国際化支援を訴えました。

理事選挙は昨年11月に告示され、31人が立候補。各都道府県作業療法士協会の代議員257人によるインターネット投票（4月25日～5月16日）の結果、24人が当選しました。松尾氏は全理事中、最年少での当選となりました。



松尾 萌美氏

◆松尾 萌美氏コメント  
作業療法士の存在意義を高めたい！ 職域を拡大し多様な働き方を推進したい！ それを国内のみならず、国外へも

伝搬したい。このような思いを実現するために、今回、選挙に挑戦しました。その思いの根幹は、母校での学びに培われたものが今も生きている

と考えます。最年少理事として、大変な事もプラスに変え、やりがいをもって取り組みたいです。



写真左は、セラピードッグの雪くんと触れ合う学生。同右は、雪くんと記念撮影する受講学生たち



基礎セミナー「ファシリテッドッグ・セラピードッグ:医療と動物と心の支え・癒し」

## セラピー犬「雪くん」と触れ合う

「高齢者や障がいを持つ人、病気治療中の患者たちの身体と精神の機能回復を補助する」などの役割を持つと言われているセラピードッグが5月21日（水）、来学し、学生たちと触れ合いました。1年次の必須科目「基礎セミナー」の中の「ファシリテッドッグ・セラピードッグ:医療と動物と心の支え・癒し」の一環。

同講義は看護学科の三輪富士代教授が担当し、13人の学生たちが「ファシリテッドッグ・セラピードッグ」について学んでいます。この日は、大腸肛門病センター高野病院（熊本市中央区）の動物介在療法コーディネーター（AAT）安藤雅子さんと看護師の田中明子さんが3102講義室Sで講義を行いました。

安藤さんが動物介在活動（AAA）と動物介在療法（AAT）の違いとそれぞれの効果、セラ

ピードッグになるための基準などを説明しました。田中さんが、セラピードッグたちがどのように活動してきたのか、患者の病状や状態なども交えながら紹介すると、学生たちは真剣なまなざしで聞き入っていました。

講義後、学生たちは2号館下のピロティに集合し、同病院で活躍するゴールデンレトリバーの雪くん（2歳）が登場すると、学生たちは歓声を上げて温かく迎えていました。写真を撮ったり、恐る恐る手を伸ばしてなでてみたりと触れあい方は学生それぞれでしたが、相手の触れ合い方に応じて雪くんはしっかり寄り添っていました。講義で学び、触れ合って学び…。五感を使って学んだ基礎セミナーでした。

（NL編集部）

看護学科1年「日常生活の援助技術Ⅰ」

## 見た目と快適さ…ベッドメイキングの腕前競う

5月23日（金）、看護学科1年次の必修科目「日常生活の援助技術Ⅰ」でベッドメイキング演習が行われました。ベッドメイキングは看護学生が習得すべき重要な看護技術のひとつで、見た目はもちろん、実際に使用する患者が心地良さを感じるベッドを作ることがポイントです。学生たちは3407、3408のふたつの実習室に分かれ、教員からシーツを折り込むコツなどを習った後、グループメンバーで協力して、快適なベッドを完成させていきました。

演習の最後には、最も美しく仕上がったベッドに、ベッドメイキング大賞が授与されました。4人1組のグループに分かれた学生たちは15分の制限時間の中、シーツのしわを伸ばしたり、マットレスの下にシーツを入れ込んだりと大奮闘。力を合わせて一つのベッドを作り上げていました。

順位を決める投票にも学生たちが参加しまし

た。それぞれ隣の実習室を訪れ、「アイロンかけたみたいに綺麗」「このベッドだけ輝いて見える」などと感想を述べながら、最もきれいに仕上がったと思うベッドに投票。実習室ごとに1位と2位が発表されると、選ばれたグループのメンバーたちは両手を上げて喜んでいました。（NL編集部）



3407実習室で1位となつた学生たち



朝の大学駐車場前の道路。1限目直前には学生が運転する車が数珠つなぎになる光景もみられます

自転車のヘルメット着用や、学内での20㌔以下での走行を徹底してもらおうと、学生委員会の教職員が5月26日（月）～30日（金）にかけ、早朝の学内で安全走行等と呼びかけました。

メンバーは午前8時半ごろから大学正面に立ち、バイクで通学してきた学生たちに向かって「スピードを落として」「学内は20㌔以下だよ」など大きな声で注意を喚起。学生たちは即座に対応していました。また前日にヘルメット着用を忘れていた学生が、きちんと着用して通学している姿を見つけると、「えらいぞ～」と声をかけていました。

最近、1限目の開始前になると、第2駐車場前の道路では、学生たちの車による渋滞が発生しています。慌てている時の運転は大変危険です。事故を起こすことのないように、時間に余裕を持って行動するようにしましょう。（NL編集部）

## ピア・サポ通信

### 学生生活、勉強のやり方... 1年生の不安解消へ相談会

1年生を対象にした「ピア・サポーターによる相談会」を5月21（水）、22日（木）の昼休みに開催しました。1年生からは、試験対策、勉強の仕方についての質問が多くありました。

大学生活に少しずつ慣れてきた頃だと思えますが、不安なことも多々あるでしょう。講義も本格化してきて勉強の仕方がわからない方や、何より初めての定期試験を控えている1年生からすると、今回の相談会はとても有意義な時間になったのではないのでしょうか。ピア・サポーターにとっても、学科・専攻ごとに交流の良い機会になりました。

ときには周りを頼ることも大切です！先生や先輩を頼って、大学生活を充実したものにしてください。ピア・サポーターも相談しやすい雰囲気作りを意識してお待ちしています！

（言語聴覚学専攻2年 岩切心優、米本真啓）



ピンクのTシャツに身を包み、1年次生からの相談に対応するピア・サポーター

## インフォメーション

### 週間行事予定（6月2日～6月9日）

6/2（月）	利益相反に関する研修会
6/3（火）	コンケン大学交換研修生 ウェルカムパーティ
6/5（木）	インカレ壮行会
6/6（金）	新任教員によるお披露目講演会 令和6年度学内研究費（P&P）報告会
6/8（日）	進学ガイダンスセミナー@東海大学